

令和7年 第9回

君津市教育委員会会議録

日時：令和7年9月25日（木）午後3時00分

場所：5階大会議室

令和7年第9回君津市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和7年9月25日(木) 午後3時00分開会 午後3時55分閉会
- 2 場 所 5階大会議室
- 3 出席者 教育長 粕谷哲也
委員 小倉洋一、佐藤 薫、増田亜紀
- 4 出席職員 教育部長 高橋 克仁 教育部次長(事)教育総務課長 田淵 陽子
学校教育課指導担当主幹(兼)教育センター所長(兼)教育支援センター所長 武次謙治郎
教育センター主査 田仲 永和
生涯学習文化課長 野村 出 生涯学習文化課文化振興担当主幹 當眞 紀子
(事務局)教育総務課副課長 岡本 忠大
- 5 傍聴人 なし
- 6 会議日程 日程第1 前回会議録の承認について
日程第2 教育長報告について
日程第3 報告第1号 専決処分(後援関係)の報告について
報告第2号 令和7年度 久留里城址資料館企画展について
報告第3号 令和7年度 第53回君津市小・中学校児童生徒の科学工夫工作・
研究論文及びプログラミング作品展等の実施結果について
報告第4号 令和7年度 イングリッシュ・デイ・キャンプの実施結果について
報告第5号 公民館文化祭について

田淵教育部次長

会議に先立ちまして、前回会議での資料の訂正について、報告いたします。

8月18日に開催しました教育委員会の議案第5号 教育財産(旧大和田小学校)の用途廃止について修正箇所がございましたので、お伝えいたします。修正箇所は3点です。旧大和田小学校の地目の山林の所在地番でございますが、君津市坂田727-1外18筆と3筆増加いたします。それに伴い、地積につきましても修正前の9,194.50㎡から1,624㎡増加し、10,818.50㎡となり、合計は、45,072.98㎡となります。3つの地番は、今年度用地整理に伴う権利登記に係る登記嘱託の中で、関係各課で協議し、道路用地として管理課に所管換するものとなります。

申し訳ございませんでした。

粕谷教育長

ただいまの出席者は4名で、定足数に達しておりますので、これより、令和7年第9回君津市教育委員会会議を開催します。

粕谷教育長

日程第1 前回会議録の承認について、を議題といたします。

事前にご確認をいただいておりますが、各委員から何かお気づきの点はございますか。

粕谷教育長

ご意見等も無いようでございますので、採決を行います。前回会議録の承認について、賛成の委員の挙手を求めます。

【全員挙手】

粕谷教育長

挙手全員。会議録につきましては、承認されました。

粕谷教育長

日程第2 教育長報告について、9月に出席した行事及び出席予定の行事についてご報告いたします。

内容は記載のとおりでございますが、この中から2点ご報告申し上げます。

はじめに、9月3日の周西の丘小学校の2学期初日の登校観察について、ご報告申し上げます。当日は、快晴で、気温も高くなりましたが、子どもたちが元気に登校する姿を確認してまいりました。また、コミュニティバスに乗車して、登校する姿も確認いたしました。さらに、校舎に入り、新しい教室を目の当たりにした児童のみなさんからは、「きれい、明るい部屋だ」といった声があったことや、業間休みでは、グラウンドや新しい遊具で、元気に遊ぶ姿があったとの報告を受けました。今後も、「君津市で学ぶすべての子どもたちが、10年後20年後に君津で学んで良かった」と思える魅力ある学校づくりを進めてまいりたいと気持ちを新たにいたしました。

次に、9月5日、8日、9日に行われた第3回君津市議会定例会の一般質問の内容について、ご報告申し上げます。今回は、個人質問が行われ、教育関係では、36点の質問がありました。このうち、佐藤葉子議員からの「いじめ防止対策について、教員や保護者の理解促進に向けた啓発活動をどのように行っているか伺う。」という質問には、「本市では、他市に先駆けて、いじめ防止対策推進条例を策定し、「いじめは絶対に許さない」という強い信念のもと、いじめの早期発見、早期対応に取り組んでおります。これまでにも、教職員については、校内研修や対策会議等において、いじめ根絶の理解促進に向けた支援を行っており、保護者や地域に対しては、いじめ防止基本方針について、ホームページ等で広く周知しております。さらに、君津市中学校合同生徒会による「いじめ防止本気キャンペーン」を市内全小中学校で実施し、いじめ防止に対する意識の向上を図っております。本市における、いじめの認知件数の推移については、条例制定時の平成30年度に急増した後、その後はゆるやかな減少傾向にあります。今後もいじめを未然に防止するため、学校のみならず、保護者や地域全体にも周知できるよう努めてまいります。」とお答えいたしました。また、「条例制定以降のいじめの重大事態の発生状況を伺う。」という質問があり、「平成30年度に1件、令和元年度に2件となっており、それ以降は発生しておりません。」とお答えいたしました。さらに、「重大事態の判断はどこが行うのか伺う。」という質問があり、「いじめ防止対策推進法に基づき、当該学校の校長が判断をいたします。」とお答えいたしました。最後に、議員からは、「現場の判断は重要であり、いじめの定義について

て、教員個人の解釈に差が生じないように、共通理解を図っていただきたい。条例の理念を生かして、学校、家庭、地域が一体となって、いじめの未然防止と早期対応に取り組まれない。」という要望をいただきました。

続きまして、下田剣吾議員からの「今後多額の費用がかかるスクールバスについて、他自治体の知見を本市の業務改善にも活かすべきだと思えるが見解を伺う。」という質問には、「スクールバスは、学校統合に伴う通学距離の延伸による児童・生徒の負担軽減や安全確保のため、市域の広い本市にとって、必要不可欠な通学手段であると考えております。一方で、スクールバスの運行については、多額の費用を要し、これまで、運行車両台数の削減や、ルートの見直しなど、事業費の削減に取り組んでまいりました。ご指摘のあった自治体を含め、他の先進事例を調査研究するなど、本市の実情に合った、より効率的な運行を目指してまいります。」とお答えいたしました。その他の質問については、配付の資料でご確認いただければと思います。

報告は以上でございます。

粕谷教育長

ご質問等、ございますか

粕谷教育長

質問等も無いようでございますので、日程第3 議事に入ります。

本日の案件は、報告5件でございます。

粕谷教育長

はじめに、報告第1号 専決処分（後援関係）の報告について、を議題といたします。報告第1号について、事務局の説明をお願いします。

田淵教育部次長

報告第1号 専決処分の報告についてご説明いたします。

8月の教育委員会会議にて報告させていただいた以降に、専決処分し、後援を承認した行事について報告いたします。案件は6件ございますが、このうちの1件について説明いたします。8月26日に承認した、「君津商工会議所青年部 創立30周年記念「秋の大感謝祭～君津の魅力を楽しもう～」」は、君津の枝豆「小糸在来」や君津のお米、鶏卵などの特産品や君津の文芸を広くPRし、また、君津市内の小学生を対象とした「夢のある野球場 絵画コンテスト」の入賞作品発表の場として令和7年10月25日（土）に、君津市民文化ホールで開催するものです。その他5件につきましても、行事の後援に関する規程に基づき、後援を承認し、君津市教育委員会行政組織規則第8条第1項第7号の規定により、専決処分をしたので、同条第2項の規定により報告するものです。

以上でございます。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

確認させてください。マリーンズの夢の球場の応募数はどれくらいあったのでしょうか。

高橋教育部長

222点です。子どもたちの数が3200人くらいですので、ある程度の数だと思います。

粕谷教育長

実際、表彰式の時には紹介されると思いますが、それ以外にホームページ等で紹介されるのですか。

高橋教育部長

まだ見ることができません。発表後のお楽しみということとなります。

粕谷教育長

小学校1年生から6年生までですけど、なかなかユニークで面白い作品がたくさん応募されている感じがします。発表後のお楽しみということです。ありがとうございました。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、報告第2号 令和7年度 久留里城址資料館企画展について、を議題といたします。報告第2号について、事務局の説明をお願いします。

野村生涯学習文化課長

報告第2号 令和7年度久留里城址資料館企画展についてご報告いたします。

令和7年度の久留里城址資料館の企画展は、今年没後300年を迎えた江戸時代の久留里ゆかりの偉人、新井白石に焦点をあて、貴重な資料の数々を紹介します。新井白石没後300年記念事業実行委員会との共催による展示となります。会期は、10月25日（土）から12月7日（日）までで、会場は、久留里城址資料館です。展示資料は、若き日の新井白石がいにしへの久留里城を詠んだ詩を載せる「陶情詩集（とうじょうししゅう）」や、政治家として活躍中の白石が久留里の友人にあてた手紙などを含む約50点です。展示解説会を11月1日、8日、22日、12月6日、いずれも土曜日になりますけども、午後2時から展示室にて行います。解説は、新井白石没後300年記念事業実行委員会の方々です。これを機会に、郷土ゆかりの偉人について、あらためて見つめ直す機会となれば幸いです。ぜひ、ご来館いただきたいと思います。

以上、報告いたします。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

質問等も無いようでございますので、次に、報告第3号 令和7年度第53回君津市小・中学校児童生徒の科学工夫工作・研究論文及びプログラミング作品展等の実施結果について、を議題といたします。報告第3号について、事務局の説明をお願いします。

武次学校教育課指導担当主幹

報告第3号 令和7年度第53回君津市小・中学校児童生徒の科学工夫工作・研究論文及びプログラミング作品展等の実施結果についてご説明いたします。

この展覧会は、「子どもたちの科学工夫や研究に対する成果を発表する中で、子どもたちの科学に対する興味関心や意欲を高める。」ことを目的に開催しており、今年度が53回目となりました。今年は、9月6日（土）から8日（月）までの3日間、市役所5階大会議室において開催しました。出品作品は、科学工夫工作作品が、小学校・中学校あわせて48点、研究論文が83点の、計131点が出品展示されました。そして、今年度が4年目となるプログラミングの部については、「君津市」「SDGs」をテーマに出品された61点の中から、19点の入賞作品が選ばれ、電子黒板にて展示されました。

この展覧会には、開催期間の3日間で569名の方にご来場いただき、大変好評なものとなりました。入賞作品については、教育センターホームページでも紹介いたします。

なお、今回の出品作品の中から、今月10日（水）に開催されました「君津地方小・中学校科学工夫作品審査会」におきまして、小学校3点が特別賞を受賞し、うち2点が県の科学工夫工作作品展に出品されます。また「君津地方論文審査会」にて小学校1点が特選、中学校1点が推選となり、計2点が千葉県の審査に進んでおります。千葉県の審査は10月上旬の予定となっており、結果につきましては、情報が入り次第、再度ご報告いたします。

報告は以上ですが、ここで、プログラミング作品の一部を紹介させていただきます。

(作品紹介)

粕谷教育長

本市でプログラミングは、いつから始めましたか。

武次学校教育課指導担当主幹

令和4年からですので、今年で4年目になります。

粕谷教育長

他市とは足並み揃えてやっているのですか。

武次学校教育課指導担当主幹

実は4市で科学工夫作品展の中でやっているのは、君津市だけです。そちらの方はiPadでできるというところが、子どもの意欲付けがしやすいというところがあるのかと思います。またこちらも県でも優秀な賞を獲れるようになってきています。

田仲教育センター主査

年々、かなり凝った作品が出てきまして、データ容量が重くなってしまっていて、処理しきれずなかなか開かないというようなものまであります。読み込みにそれだけ時間が掛かるというのは、それだけ子どもたちが頑張っているということです。

粕谷教育長

事務局の説明と作品の紹介がありました。ご質問、ご意見等ございますか。

増田委員

今のプログラミングは、ソフトが決まっていて、みんなが同じソフトを使うのか知りたいということと、宿題は、以前はドリルとかだったのですが、今はiPadで宿題をするというのを聞いて、全部の学校がそうなのか、そうすることによって先生方の負担が減ったとか、そういったことがあればお聞きしたいです。

武次学校教育課指導担当主幹

プログラミングに関しましては、Scratchという無料のソフトを使うという縛りがあります。家のパソコンでもできますが、iPadにも入っているので、持ち帰って使って作ることができます。ただ提出は、別途親御さん等から教育委員会に送っていただく形で行っています。

それから夏休み中に課題に関しましては、全体的には以前よりは減ってきております。iPadでやるというものもいろいろあるのですが、まだ小学校低学年などは、iPadよりもワークブックの方が、集中力が続くとか、取り組みやすいというところもあるので、それを選択する学校もあります。

基本的には減っている傾向にありますが、科学工夫か研究論文か読書感想文から選択になって、やりたい子は全部やるということが出来る。他のところに力を注ぎたい子は最小限で取り組める形になっております。

粕谷教育長

iPadは夏休み中、子どもたちは持ち帰っていますか。

武次学校教育課指導担当主幹

そちらも学校判断になるのですが、高学年などはおそらくほぼ持ち帰っているかと思えます。1年生とかになると、まだ1学期間だけで、使い方など全部習得できていないので、学校で預かっているところかと思えます。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、報告第4号 令和7年度イングリッシュ・デイ・キャンプの実施結果について、を議題といたします。報告第4号について、事務局の説明をお願いします。

武次学校教育課指導担当主幹

報告第4号 令和7年度イングリッシュ・デイ・キャンプの実施結果についてご説明いたします。

8月6日(水)に「上総地域交流センター」にて、イングリッシュ・デイ・キャンプを開催しました。今年、小学校5、6年生を対象に開催とし、市内の希望者38名が、ALT16名と一緒に英語でのコミュニケーションのみで様々な活動に取り組みました。「EXPO KIMITSU 2025」のテーマのもと、4つの部屋を回り、道案内やすごろく、クイズ、ダンスなどを行いました。また、大阪・関西万博とオンラインでつながるイベントも実施し、大変盛り上がりました。当日の様子を短い動画にまとめましたので、ご覧ください。

(動画視聴)

武次学校教育課指導担当主幹

参加者からは「ネイティブの先生と話せて楽しかった」「すごろくは、何のマスに何がかいていあるか英語を読むのも楽しかった」、「英語の話し方を知れて嬉しかった」、など多くの前向きな感想があり、異文化体験や英語が伝わる喜びを実感するよい機会となりました。今後もこの事業を通して、実際に生きた英語に触れるチャンスをつくり、「英語が通じる楽しさ」、「いろいろな人と交流する喜び」などの成功体験を増やし、児童の外国語学習の意欲向上につながるようにしたいと考えます。

以上報告させていただきます。

粕谷教育長

事務局の説明及び当日の様子の映像をご覧になっていただきました。ご質問、ご意見等ございますか。

佐藤委員

映像の中で流れていたBGM、曲も作られたのですか。

武次学校教育課指導担当主幹

お気付きいただきありがとうございます。イングリッシュ・デイ・キャンプというフレーズも曲の中にあっただかと思えます。コーディネーターALTというリーダー的な存在の職員が、そういうことに長けていて、当日も流したりして、子どもたちを惹きつけるようなものを作ってもらっていて、オリジナル曲です。

粕谷教育長

今、本市で雇用しているALTが9名のうちの1人が教育委員会内で中心となるコーディネーターALTとして勤務しています。その彼が指導力はもちろんなのですが、コンピュータも大変長けているということで、編集から全部やったそうです。すごく頼りになる存在です。

小倉委員

実際に見たわけではないのですが、この報告の資料や映像だけ見るとみんな楽しそうにやっているのが分かるのですが、こんなに人気があるのなら、夏休み中に1回と言わず、お金が1回にどれくらい掛かるか分かりませんが、1回と言わず、2回、3回やってみたらどうかと思いました。

武次学校教育課指導担当主幹

イングリッシュ・デイ・キャンプのお金については、ALTの年間の雇用の中にイングリッシュ・デイ・キャンプも行うという契約に入っております。試験的なところからスタートしたのですが、好評なので続けているところで、現状40人から50人を上限として募集をかけているのですが、ちょうど希望人数くらいで、これが倍ぐらいきて、全員が参加できなかつたら検討するところなのかと思っておりますが、今のところ応募者全員が参加できているので、さらに増えてきたら検討したいと思います。

増田委員

とても楽しそうだったので、たくさん子どもたちに今の映像とかを知ってもらいたいと思いました。「こんなに楽しいなら来年は参加したいな」という子が増えてくれればいいと思います。

武次学校教育課指導担当主幹

映像については、募集の時に見せられるようにというところも参加者を増やすのに有効かと思っておりますので、来年に向けて検討したいと思います。基本的に英語の教員向けの研修等でも見せて、先生方がこのような活動をしていると呼びかけるようにはしています。

粕谷教育長

他に質問等も無いようでございますので、次に、報告第5号 公民館文化祭について、を議題といたします。報告第5号について、事務局の説明をお願いします。

野村生涯学習文化課長

報告第5号 公民館文化祭についてご説明いたします。

令和7年度の公民館の文化祭は、10月4日の亀山分館からスタートして、11月9日まで順次実施する予定となっております。内容については、特別企画、発表、展示など、各公民館、工夫して行う予定です。今年の特徴としては、戦後80年の節目となることから「第二次世界大戦下の君津」と題しまして、平和で君津がつながるよう、市内8公民館を会場に特別巡回展示を企画しております。委員の皆さまには、ご都合がよろしければ、お近くの公民館の文化祭にご参加ください。

説明は以上です。

粕谷教育長

事務局の説明が終わりました。ご質問、ご意見等ございますか。

粕谷教育長

質問等も無いようでございますので、本日の議案はすべて終了いたしました。その他、委員のみなさん又は事務局から何かございますか。

武次学校教育課指導担当主幹

君津市算数・数学授業力アップ公開研修会のお知らせとなります。

第1回が10月21日（火）に君津中学校で行うことを決定しましたので報告いたします。委員の皆様もお時間がございましたら、見に来ていただければと思います。授業は13時15分から中学3年生の授業となります。授業は、関数 $y = ax^2$ と単元は決まっておりますが、どういった授業内容にしようかと指導案は検討中となっております。教育長からもこだわりを持った授業となるよう指示をいただいておりますので、現在、担当が調整中です。

以上で、報告を終了いたします。

粕谷教育長

算数・数学授業力アップ公開研修会で、今年初の試みで中学校での開催を計画しています。今の中学生が

どんな授業を受けているのか、時間的にも早いので都合をつけにくいと思いますけれども、もし可能であれば、ぜひ足を運んでいただきたいと思います。

粕谷教育長

他に、委員の皆さん又は事務局から何かございますか。

小倉委員

私たちが子どもの頃は学校に行くのが当たり前で、不登校とか、学校に行かないというか、行けないというか、今は行きたくないのだったら無理矢理行く必要もないというか、そこまでして学校に行く必要がない感じに全体的になっていると思うのですが、君津市全体でどのくらい不登校の子どもたちがいるのか、行きたくないなら行かなくてもいいと言ってみんなが行かなくなったら学校として成り立たなくなってしまふし、そのあたりはどうなのか聞きたいです。

粕谷教育長

長欠・不登校の数値は、いつも言っていますけれども、今の話だと親御さん等の考え、また本人の思いで、実際行けていない子どもたちはどれくらいいるのかという、また親御さんの傾向みたいなものが、もし把握しているのであれば紹介してもらっていいですか。

武次学校教育課指導担当主幹

全国的にも不登校はずっと右肩上がりであるというような報道のとおりなのですが、君津市も同じように増えています。ただ君津が今のところ頑張れているのが、不登校の率が全国の平均値、県の平均値よりも少なく、君津も同じように増えています、全国よりは低く収まっているというところです。パーセンテージは全国的に小中合わせて4%から5%というところです。不登校と言った時には、200日くらいの授業数があるのですが、欠席が、病欠以外で休んだ日数が30日以上といったところが目安となっています。そのため不登校にカウントされても、30日ですので、170日は来ている子どもも不登校に入ります。それが4%、5%という数になります。学校も我々も親もそうなのですが、行きたくない子を無理に行かせるというところは以前ほど無いと思います。それは自殺のことであるとか、大人が変容してきているところなのかと思います。学校として考えた時には、子どもが選択として学校に来ていなくて、家を出て社会の中で元気に生活しているのであれば、精神衛生上問題はないと少し安心感があるのですが、不登校で、家に引きこもってばかりで外部との接触がないという状況であれば、何とかしていこうと取り組みますので、不登校の形態としてもいろいろある中で学校は、その不登校の状況をつかんで対策をしているところです。

粕谷教育長

不登校になった子どものための「学びの多様化学校」という膨大な予算をかけて作っている自治体もあるくらいですから、それを一応認めた上で学習権を保障する1つのシステムと考えれば、認めた上で教育が進んでいると理解ができます。

佐藤委員

古い人間だから言えることなのですが、この前、周西の丘小学校を見学させていただいて、素晴らしい校

舎で子どもたちも揚々と登校する様子も、学習する様子も伝わってきて嬉しかったのですが、元教員からすると、もっと教室の掲示物で子どもの作品をたくさん飾っているような、ちょっとしたアイデアが欲しかったとか、1年生が外の遊具で遊んでいてチャイムが鳴って帰ってくるのには少し遠いかなとか、1年生の教室の前には、栽培活動ができるような工夫が欲しかったとか、給食のワゴンが部屋に何台入るのかとか、もう少しこうして欲しかったものとか見えてくると思います。入られた先生方は新しく素晴らしい校舎の中で、汚さないようにとか、これを満たそうと思って工夫しながら、あるいは少し我慢しながらやっているのかもしれませんが、現場から「ちょっとここをこうしてくれたらもっと良かったのに」という声を聞くのは今しかないと思います。何年か経ってしまったら「今までこれでやってきたんだから」となってしまうので、今その声を拾っていただいて、どこかに記録しておいて、こういう機会があるか分かりませんが、何かに活かしてもらって、子どもたちとそこで活動してくださる先生方が一番使いやすい校舎を作って、予算との兼ね合いもあると思いますが、そういう細かいちょっとしたところを今見つけて、記録を残しておいてほしいと感じました。

粕谷教育長

学校生活が始まって1か月近く経ちますが、現時点でそういう声が上がっているかもしれませんが、分かっている範囲で何かあれば、また今後どうしてかということも含めて、即答できない部分もあるけども、今ご意見いただきまして、何かございますか。

岡本教育総務課副課長

貴重なご意見ありがとうございました。佐藤委員のおっしゃるとおり、実際に運営を始めて気付かなかったこととか、これから出てくるかと思っています。その時に、次に生かすということでは、先生方といろいろな情報も共有しながら次につなげていきたいと思っています。我々も現地に入って、例えば、細かいところなのですが、開き戸がまたスライドして戻ったりします。倉庫は開きっぱなしの方が良かったとか、あとから気付くことがありますので、子どもたちの視点でより良い学校生活が送れるように今後、こういう機会があれば今後の改善につなげていきたいと思っています。

岡本教育総務課副課長

文部科学省職員教育行政・学校教育等実務研修生の受け入れについて、報告いたします。

本件につきましては、文部科学省による若手職員の研修の一環として、受け入れの依頼があったところですが、昨年引き続き、本市で受け入れることといたしました。受け入れ職員は、荒木 秀典さん、受け入れ期間は、令和7年10月27日から令和7年11月14日でございます。研修生からは、教職員や児童、生徒との交流、部活動の地域展開、地域との連携にかかるコミュニティスクールの取組に対して、研修したいとの意向があることから、市内小学校及び中学校での研修を中心に予定しているところでございます。

以上、報告させていただきます。

粕谷教育長

この場に出席して紹介したこともありましたが、研修の受け入れは、コロナ禍明けも引き続き、行ってまいりました。毎年いい研修生をお迎えして、できれば君津市のために力を発揮してくれたらという思いもあります。2週間と短いのですが、また機会があれば紹介したいと思っています。

粕谷教育長

他に無ければ、以上をもちまして令和7年第9回君津市教育委員会会議を閉会いたします。
お疲れ様でした。

以上、会議の顛末を記載し、事実と相違ないことを証するため署名する。

令和7年10月28日

君津市教育委員会教育長 粕谷哲也